

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】南大隅町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
4	2005.7.28			鹿児島県	南大隅町	10,741	213.59
構想の要約		家畜排せつ物、製材工場等残材、一般ごみなどを乾式メタン発酵等により電気、熱、建材、土壌改良剤などに交換し利用する資源循環型社会を構築する。また、飲食店などから発生する廃食油についても回収し、バイオディーゼル燃料(BDF)を製造し、ディーゼル車や農機具の燃料として使用する。					
構想に盛り込まれた事業		メタン発酵プラントの建設、ペレット・BDF製造システムの詳細設計 ペレット・BDF製造システムの建設・稼働					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材			
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他(                      )			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他(                      )					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(                      )		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他(                      )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

## バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

### (1) 利活用目標

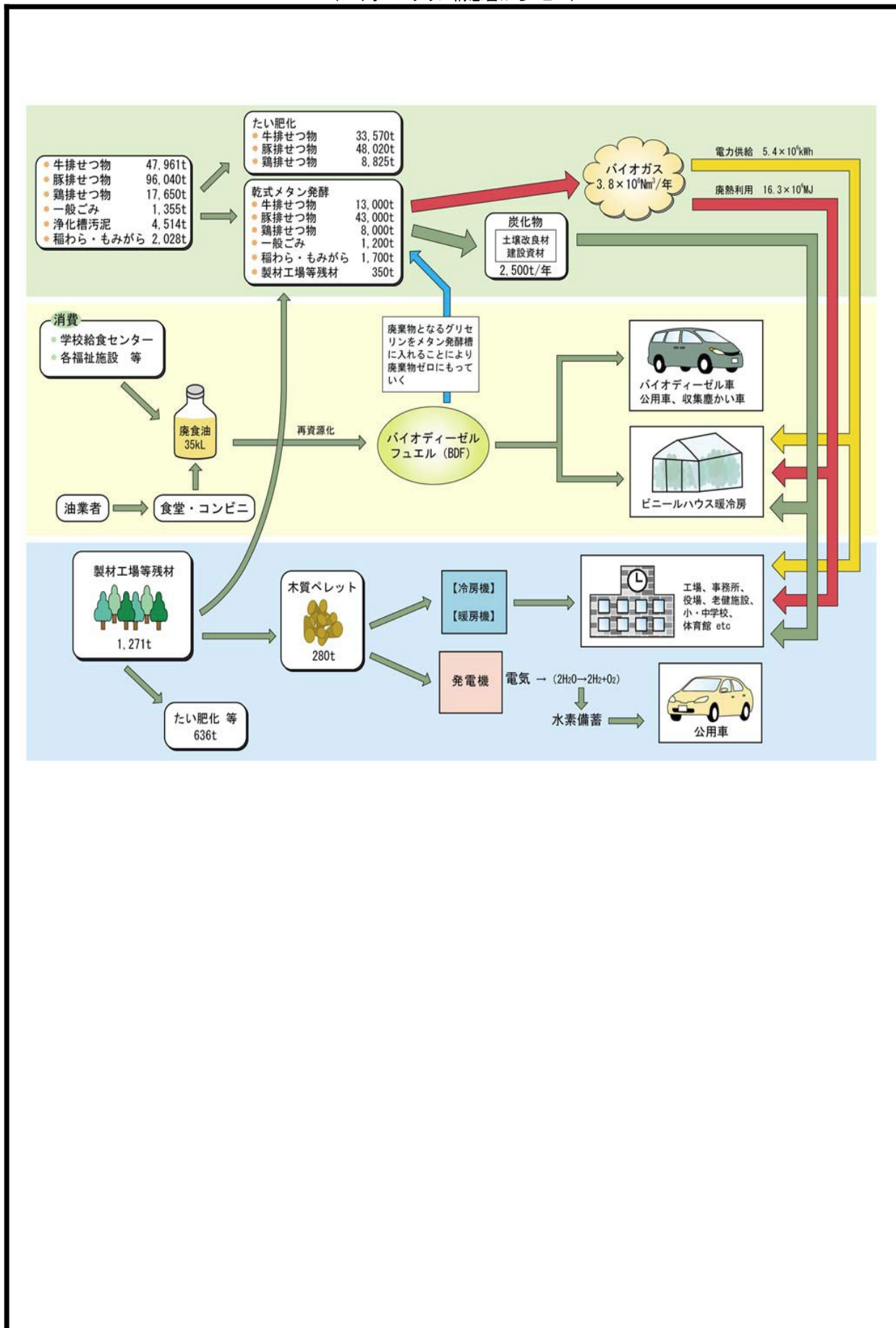
南大隅町におけるバイオマスの賦存量は170,854t/年、炭素量換算で11,027t-c/年あると想定される。バイオマス資源の収集・運搬、エネルギー変換、利用における損失を考慮し、町内に賦存する廃棄物系バイオマス資源の炭素量換算の90%以上、未利用バイオマス資源のうち稲わら及び籾殻を炭素量換算で80%以上を利活用し、南大隅町の全エネルギー消費量に相当する量を利活用目標とする。

#### 【利活用目標】

- 廃棄物系バイオマス…90%以上  
9,402-c /年以上

# バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)